

## JGN II イベント利用報告書

### 1. イベント名

「IPv6 Summit in NAGOYA」(イベント番号:193)

### 2. 申請者

東海総合通信局

### 3. イベントの概要

#### (1)目的

ものづくりが盛んな中部地域において、特に次世代ネットワークプロトコルと期待される IPv6 への適用はどのように行うべきか、ネットワークの利活用に関し、様々な立場の方にお集まりいただき、議論を行う中で、IPv6 を含む次世代ネットワーク技術の利活用について検討するものです

#### (2)主催者等

主催:財団法人インターネット協会 IPv6 デプロイメント委員会、東海 JGN II 推進協議会、

総務省東海総合通信局、「IPv6 Summit in NAGOYA」実行委員会

共催:IPv6 普及・高度化推進協議会、独立行政法人情報通信研究機構

後援:経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部地方整備局、愛知県、

社団法人中部経済連合会、愛知県 ITS 推進協議会、

NPO 法人東海インターネット協議会(TIC)

#### (3)日時

平成18年12月12日(火) 13:00～17:00

#### (4)場所

ホテル名古屋ガーデンパレス 3F 明倫の間

名古屋市中区錦 3-11-13 TEL:052-957-1022

<http://www.hotelgp-nagoya.com/>

#### (5)内容

□基調講演:「接続された自動車と IPv6 への期待」

株式会社トヨタIT開発センター CTO/東京大学名誉教授 齊藤 忠夫氏

□セミナー:「電気通信行政の視点から見た IPv6」

総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課 課長補佐 高村 信氏

□パネルディスカッション

「IPv6 はどこで生かせるのか!？」～中部のクルマとモノづくり～

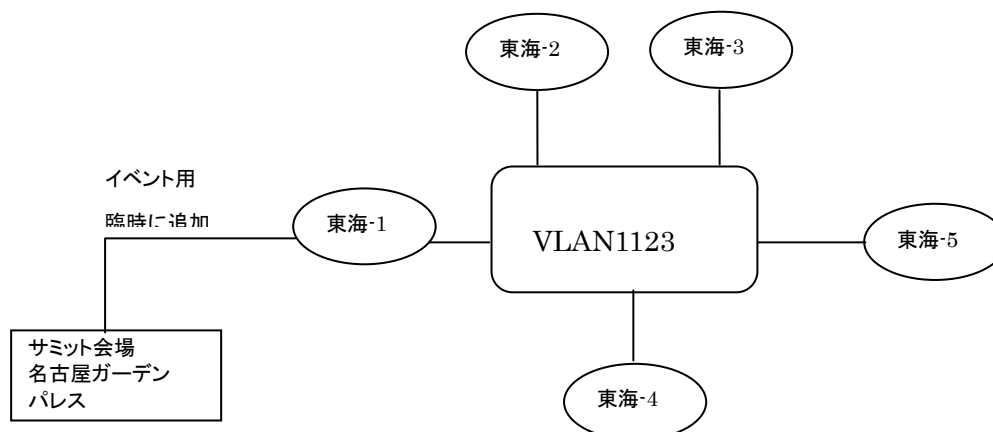
コーディネータ:名古屋大学大学院工学研究科 助教授 河口 信夫氏

パネリスト:慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別研究助教授 植原 啓介氏

株式会社トヨタIT開発センター 研究開発部 シニアリサーチャー 吉岡 顕氏  
中部テレコミュニケーション株式会社 サービスオペレーションセンター  
部長 市橋 典久氏  
ヤマハ株式会社 サウンドネットワーク事業部 企画部  
企画グループ 技師補 広瀬 良太氏  
株式会社インテック・ネットコア 代表取締役社長／  
財団法人インターネット協会 IPv6DC 議長 荒野 高志氏

#### 4. JGN II 利用の概要

サミット会場(名古屋ガーデンパレス)の様を、東海基幹通信網構成拠点(NTT熱田局)を経由して東海管内 JGN II アクセスポイントである名古屋大学、ソフトピアジャパン、静岡県立大学、三重県立看護大学に配信した。



#### 5. 参加人数

サミット会場(名古屋ガーデンパレス)120名  
静岡県立大学 ……15名

#### 6. 実施の評価

多数の参加者があり、最後まで参加して者がほとんどであった。参加を事前予約した者の出席率が高くなり、また事前予約なしでの参加者も多数あり、講演やパネルディスカッションの内容を参加者は熱心に聞き入っていた。

これについては、講演者やパネラーは、知識も豊富で話し方がとても上手かったことも、参加者が最後まで参加した理由と見られる。パネラーについては、その一人だけで講演を行っても十分講演会が実施できる知識と話し方を有していた。

サミット全体で見た場合、かなり質の高いものとなった。

パネルディスカッションのコーディネーターである河口氏については、東海 JGN II 推進協議会の利

用促進部会長であり、パネルディスカッションの冒頭挨拶で、JGN II についての概要説明と利用促進についてアピールした。

当該サミット会場と東海基幹通信網構成拠点 (NTT熱田局) を接続する回線使用について、予算の都合上、当該サミット前日と当日しか確保することができなかつたため、JGN II の接続試験もサミット前日にしか実施できなかつた。しかしながら大きなトラブルもなく、接続及び実施することができたのは、前年度に実施した「東海 JGN II 通信放送シンポジウム (イベント番号: 110)」での経験が多少なりとも生きていたためと思われる。

## 7. 開催模様 (写真)



配信映像撮影用カメラ



各アクセスポイントあて配信映像と送信設備



サミット会場 正面



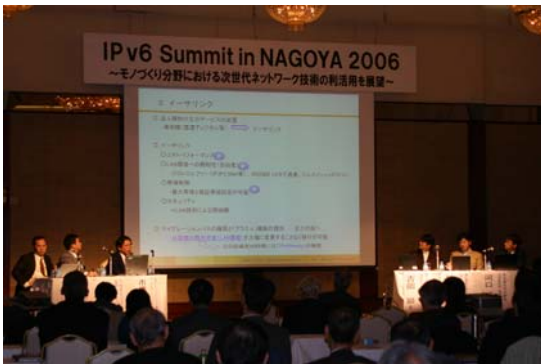
主催者挨拶: 東海総合通信局 局長 鈴木 薫



基調講演：  
「接続された自動車と IPv6 への期待」  
齊藤 忠夫氏



セミナー：  
「電気通信行政の視点から見た I P v 6」  
高村 信氏



パネルディスカッション



パネラーと各アクセスポイント(4カ所)の様様



閉会挨拶:財団法人インターネット協会 副理事長 高橋 徹氏